

「あしのランドであそぼう」の実践

釧路市立日進小学校 金子ゆかり

※この実践は、前任校釧路市立芦野小学校において行ったものである。

◆単元のポイント

○子供の思いや願いを生かす

本単元は、「いろいろな遊びを知りたい」という子供の思いや願いを生かし、伝承的な遊びやおもちゃ作りを体験するという活動を中心構成しています。

○TTを取り入れる

既製のおもちゃ以外で遊ぶ経験が少ない子供は、「やってみたい」という意欲があっても、なかなか遊びを広げることができません。そこで、学年TTや学校外TTを取り入れて、地域の老人会の方々に遊び方のコツや作り方を教えていただき、友だちと一緒に遊ぶ楽しさや手作りおもちゃのよさを実感することができるようになります。

○交流の場を設定する

子供は、老人会の方々とのかかわりの中で、身近なものが工夫次第で楽しいおもちゃに変化するという、生活の知恵や物を大切にする心を学びます。お互いに学んだことを交流し合い、よさを認め合う中で、自分なりに工夫して遊んだり、思いやりの気持ちをもって教え合ったりしながら、主体的に活動を広げ、日常生活の中に生かしていくことができると言えます。



◆単元の目標

- 手作りおもちゃに关心をもち、いろいろな人達と積極的にかかわり、進んでおもちゃを作ったり、楽しく遊んだりしようとする。（関心・意欲・態度）
- 身近な素材の特徴を生かして、おもちゃ作りや遊び方を工夫し、相手に伝えることができる。（思考・表現）
- おもちゃを作ったり遊んだりする中で、身近な素材がおもちゃに変化することや、場を工夫することで楽しく遊べることに気付く。（気付き）

◆単元の構成（15時間扱い）

おもちゃ作りや遊びの準備をする (3)

- ・遊びの名人をさがす
- ・材料を集め

- ・国語の学習との関連で、意欲化を図る

- ・校区探検を生かし地域の人達に目を向けられるようにする
- ・身近なものを活用できるようにする

- ・協力してくれている人達に感謝の気持ちをもてるようにする

おもちゃ作りや遊びを習う (2)

交流会をする (1)

- ・工夫して発表できるようにする
- ・友だちのよさに気づくようにする

「○○ランド」の準備をする (5)

- ・計画を立てる
- ・おもちゃを作る
- ・ルールや看板などを作る

- ・経験を生かし、見通しをもって活動できるようにする
- ・オープンスペースを活用し、相互交流を図りながらよさを認め合えるようにする

「○○ランド」で遊ぶ (3)

- ・いろいろな遊びを体験する
- ・1年生を誘って遊ぶ

- ・仲良く活動できるようにする
- ・思いやりの気持ちをもって下級生とかかわれるようにする

活動を振り返り、絵や文に表す (1)

- ・手作りおもちゃへの関心を高めいろいろな人達とのかかわりを大切にしようとする気持ちをもてるようにする

◆実践するにあたって

子供の思いや願いの実現にむけて、日常的にTTを取り入れた活動を行っています。学級の枠にとらわれずに、多くの人と積極的にかかわりをもちながら活動することができるよう、幼稚園児や上級生、地域の人々との交流の機会をより多くもつことができるよう心がけています。